

ロータリーは世界をつなぐ

事務局　四国中央市金生町下分７８９-1　四国中央商工会議所内
http://www.iyomishima-rc.jp　ＴＥＬ(0896)58-3530
E-mail:iyomis@iyomishima-rc.jp　ＦＡＸ(0896)58-6294
例　会　金曜日　12:10～13:10
■会長／青木良臣　■幹事／藤田浩晃　■広報委員長／今村定生

Rotary Connects the World
2019-20年度国際ロータリー会長

No.２２
令和元 .11.29
第３１７１回

地 区 大 会 報 告

清　家　敏　満



11 月 23 日、24 日に徳島市で開催されました国際ロータリー第 2670 地区大会に参加させていただきましたので、ご報告させていただきます。なお、２日目につきましては社用のため欠席となりましたので、初日のみの報告となりますことをご容赦願います。

大会会場となった「アスティとくしま」に到着すると、既に大勢のロータリアンが会場入りしており、初参加の私はどこに行けば良いのか困惑していた所に藤田幹事と合流し一安心しました。後で石川副委員長に話を聞くと、以前はこの会場の２階席まで満員になるほどの参加者がいたが、最近は人数も少なくなってしまったとのこと、今回の人数にも圧巻でしたが、過去にはその倍近くの会員が集結していたことに驚きました。開会まで時間があったので、開催記念バッチを購入し指定エリアへ着座しました。（ちなみに本日はその時購入した記念バッチを付けています）

オープニングの阿波踊りとオープニングソングのアトラクションの後、大島ガバナーの点鐘で大会が開始され、ガバナー挨拶・RI会長代理紹介・来賓挨拶・物故会員追悼と続きました。徳島県知事の来賓あいさつでは、災害復旧に際してはボランティアの必要性を感じており、そんな中ロータリークラブの社会奉仕は非常に素晴らしい活動であると評価して頂きました。

次に、田中RI会長代理による現状報告があり、会員勧誘のポイントとして、「誰かを紹介してくれないか？」と５人に声を掛けると、相手は自分が勧誘されたのではないと安心する。それを繰り返していくと「私ではダメですか？」と相手から加入の意思を表明されることにつながる、回り道をするのも必要である、とお話がありました。会員増強、特に女性会員に関しては世界平均で 20%あるが、日本においては６％であるとの報告もあり、会員増強は喫緊の課題であるとこを痛感しました。また、豊田委員長による規定審議委員会報告では、日本人の考えと外国人の考えの違いに喘ぎながら実施した審議状況について報告があり、メークアップの日数、職業分類の変更、分担金の増額、ローターアクトの上限年齢について審議しており、時代の流れに沿って進めることの必要性を訴えていました。特別参加者の奨学生の紹介とあいさつでは、全員が流暢な日本語で挨拶を行っていました。

初日の最後は、山崎ロータリー平和センター ホストエリア・アドバイザーによる基調講演「世界の平和に貢献する（ロータリー平和センター）」がありました。この「ロータリー平和センター」は、ロータリークラブ創始者のポール・スミスが持っていた世界平和の願いを受けて、ポールの没後 50 周年の記念事業として立ち上がり 2002 年度にスタートしたとのことで、当初はロータリー大学を創設しようとしましたが、最終的には世界各国の大学の中に平和センターを設け、世界平和への貢献を希望する人を迎え入れてスキルを高め世界に出していくプランとし、現在５つのセンターが開設されているとのことでした。（米国・イギリス・オーストラリア・スウェーデン・日本は国際基督教大学）

また、応募の選考としては平和への熱意があることは勿論、学士号の学位と平和活動の関連分野で３年以上の職歴と優れた英語力も必要であるとのことで、かなり難関だと感じました。

ロータリアンは「ポリオ絶滅」と同じく、世界平和を目指しているこのプログラムを誇りに思っており、地区・地域において広報活動を実施し日本からの応募者も増やしていきたいとのことでした。（日本は平和国家であり応募者自体が少なく、合格者は年間２名程度とのこと・・）

以上が初日のプログラムとなります。新入会員紹介では全員の名前が呼ばれると思い、少しワクワクしていましたが、時間が押していた関係もあり各クラブの人数のみの発表で少しガッカリでした。今回は１日のみの参加となりましたが、ロータリーの精神を持ったロータリアンが一堂に会する地区大会に参加させていただき、貴重な経験をすることができました。ありがとうございました。

地 区 大 会 報 告

井　上　香奈子



この度アスティ徳島で開催された国際ロータリー第 2670 地区大会に初めて参加させていただきました。まず会場に入り四国にこんなにロータリアンがいることに驚きました。アトラクションとして阿波踊り、オープニングソングが披露されてから点鐘、国歌斉唱、ロータリーソング斉唱し、上林地区大会会長の開会挨拶、大島ガバナーによる挨拶がありRI会長代理紹介、徳島県知事、市長の祝辞、来賓紹介、クラブ紹介が続きました。今回は１日目の大会記念発表と基調講演、２日目の記念講演について感想を述べさせていただきます。

大会記念発表として高木大会記念事業委員より 2019－2020 年度地区大会記念事業として阿波踊り会館で開催された徳島ピンクリボン集会の報告がありました。徳島プリンスロータリークラブでは前年度から継続されている地区内での社会奉仕活動に加え、新たに主要活動となる女性会員の女性目線での地域貢献・社会活動として、「日本乳がんピンクリボン運動」のがん検診啓発運動を積極的に応援していくことが計画されたそうです。会場では座談会の様子が動画で紹介されました。また講演後には会館がピンク色にライトアップされたそうです。続いて徳島大学大学院胸部・内分泌・腫瘍外科教授の丹黒章実行委員長が乳がんの実情と早期発見の大切さについての報告がありました。日本では年々乳がん患者が増加しており女性の 30 歳から 64 歳では、乳がんが死亡原因のトップとなっています。欧米などでは、検診受診率の向上により早期発見が増え、治療の進展とも重なって死亡率が年々減っています。その一方で、日本では国が定期的な検診受診を推奨しているものの、乳がん検診受診率はOECD（経済協力開発機構）加盟国 30 か国の中で低いレベルに位置し、年々死亡率は増加傾向にあります。身近ながんのひとつである乳がんは、その言葉を耳にしてはいても、具体的な症状や、検診方法の違い、自己検診の方法などは意外と知られていません。私も女性として医師として私に出来る方法でもっと周りに周知できるように努力したいと思いました。

１日目の基調講演は「世界の平和に貢献するロータリー平和センター」　ロータリー平和センター　ホストエリア・アドバイザー山崎敬生氏による講演でした。毎年ロータリー平和センター提携大学で学ぶ最高 100 名のフェローが世界中から選ばれ、ロータリーからフェローシップが授与されフェローシップには、授業料・入学金の全額、滞在費（宿舎・食費）、往復航空券、インターンシップと実地体験の費用が含まれます。創設から 10 年あまり、ロータリー平和センターは 1,200 人以上の人材を輩出し、その多くは、国連や世界銀行といった国際機関や草の根のNGOでリーダーシップを発揮し、より平和な世界を築くために活躍をされているそうです。このような素晴らしい活動を各地区でさらに認知度を高めていくことが大切ではないかと感じました。

２日目の記念講演は第 87.88.89 代内閣総理大臣　小泉純一郎氏による「日本の歩むべき道」　敗戦後においても

日本はいつもピンチをチャンスに変えてきた。最大の敵であった米国を最大の見方にした。また石油ショックがあったからこそ環境先進国になった。政治が原発ゼロに舵を切れば必ず自然エネルギーで経済成長できる国になる。原発ゼロの社会はやればできる夢のある事業であり、若者も男性だけではなく女性も高齢者も大きな夢の実現に向けて努力をしなければならないと述べられておりました。最後に　儒学者の佐藤一斎の言志四録の三学戒も紹介されておりました。「少にして学べば壮にして為すあり、壮にして学べば老いて衰えず、老いて学べば死して朽ちず」 若い時にしっかり学べば大人になって仕事を成し遂げることができる　大人になってからも学び続ければ年老いても衰えることはない、年老いても学び続ければ死後も次代の人に受け継がれるという意味です。改めて人間は一生勉強なのだなと感じました。今回の地区大会に参加させていただき大変有意義な２日間となりました。今後、この経験が生かされるようにますます励んでいきたいと思っております。

地 区 大 会 報 告

伊　藤　誠　史



11 月 23 日、24 日、地区大会に参加させて頂きました。入会して初めての地区大会参加なので何もかも新鮮に見え、凄いなあという興奮のような状態での二日間でありました。

まず会場に到着すると、多数のロータリアンの集まりに気持ちが高揚し始め、ロータリークラブの奉仕活動の大きさ、また偉大さを感じ、私もその輪に入れたんだなあと改めて実感を致しました。会場には徳島物産展やロータリーグッズ販売もあり、思わず別スーツ用にロータリーバッジを購入。座席表を見ていると、伊予三島という字が誇らしく見え、思わず写メを撮ってしまう。ほんと気持ちが高揚しておりました。

第一日目。開会に先立って、阿波踊りと徳島風景を流しながらの徳島ソングで一気に“ここは徳島なんだ”という雰囲気に包まれ、いつものように点鐘に始まり、国歌斉唱・奉仕の理想を皆で歌い大会が始まりました。

大島ガバナーのご挨拶では、まずは地区大会を開催できたことの感謝と喜びを伝えられた後、“ロータリーは世界をつなぐ”をテーマに各クラブで立ち位置を見つけ、それを超えて各地域に奉仕する。その為に、① 各クラブにて勉強・研修をしてほしい　② 会員増強に取り組む　特に女性会員の増強に取り組んでほしい　③ ポリオ撲滅をどう取り組むかを考えていってほしい　という挨拶を述べられました。

田中ＲＩ会長代理のご挨拶では、① マローニー会長ともお話をされた“会員増強の取組”　若者世代を増強することで、若返りという課題克服にもつながる。特に女性会員の増強で従来の活動に変化をもたらすことが可能になり、ＲＣのチャンスにもつながる　② 自分の為でなく他の人々の為にどう生きるかが大切で、活動を通してロータリーで学び喜びを感じる。その活動が平和構築につながり幸せになれる。　③ 各クラブ間でも力を合わせた積極的な活動を行い、その活動は人々から理解を得られることにつながるという挨拶を述べられました.

ロータリークラブの奉仕の理想、原点を改めて勉強したように思います。ちなみに、私も新入会員紹介で、森高さん　井上さん、清家さんと一緒に写真が出ておりまして喜んでおります。

第二日目。点鐘に始まり、ご挨拶の後には各表彰がありました。初めに在籍 50 年表彰で七名が受賞されたことに凄いなあと感じ、続いて在籍 60 年以上表彰で高松南ＲＣの太田英章様が受賞されました。私が生まれる前からのロータリアンに驚きと尊敬の念を抱きます。表彰が進むと、 Every Rotarian , Every Year表彰 と 100％ロータリー財団寄付クラブ表彰で伊予三島ロータリークラブが表彰されます。米山功労者表彰では我がクラブ 山内一正さん 大西克弘さん が受賞。私には凄く誇らしく感じまして、私も伊予三島ＲＣ愛を持つようになってきたなあと実感しております。

閉会に先立っての大島ガバナー謝辞では、無事に大会が終了出来たこと感謝の気持ちを述べられ、関係者・参加者・全ての人へ感謝致します との気持ちをお話されました。私には、大島ガバナーも大会成功に感謝して感極まっているように見えました。最後にロータリーソング（手に手つないで）を参加者ロータリアン全員で手をつなぎ手を振って斉唱し大会が終了いたしました。

今回地区大会に参加させて頂き貴重な体験が出来ました。“ロータリーは世界をつなぐ”　“奉仕の理想”その原点を学ぶことが出来ましたので、まだまだ未熟者ですが諸先輩と共に精進して参りますので宜しくお願い致します。



第３１７１回　　例　　会　　記　　録　　令和元年１１月２９日

開会　青木良臣　会長

出席報告

出席会員（３１名中）	２４名
出席率	８０．００％
第３１６９回修正出席率	９０．００％

会長の時間

〇定例理事会報告

・下期プログラムについて　承認
（＊一部、確認。）

・１２月度プログラムについて　承認

12 / 6　年次総会・次年度理事選出
12 / 13　プログラム・出席委員会（下期プログラム発表）
12 / 20　クラブアセンブリー（クリスマス家族例会）
（午後６時より、グランフォーレ）
5：30 ～　定例理事会
12 / 27　休会

【行事予定】

12 / 1.7　Ｒ財団地区補助金管理セミナー

幹事報告

例会行事

地区大会報告

ニコニコ紹介

藤田浩晃幹事～本日は地区大会の報告になります。発表していただく皆さんよろしく御願いします。
親睦家族会では大変お世話になりました。皆様のおかげで楽しい時間を過ごすことができました。

桂　髙司親睦委員長～親睦家族旅行に参加された会員ご家族の皆様には大変お世話になりました。お陰様で無事楽しい旅行になりました。ありがとうございました。

清家敏満親睦委員～親睦家族旅行では、大変お世話になりました。大津・京都のお寺で、安産祈願をした御利益もあり、先日（21 日）に初孫が生まれ、お爺さんとなりました。女の子なので、一層肩身が狭くなりますがうれしい限りです。

井上香奈子会員～11 / 23.24 国際ロータリー第 2670 地区大会に参加いたしました。後ほど参加報告をさせていただきます。大懇親会の後、2 次会 3 次会と皆様ありがとうございました。とても楽しく、また大会に出席し大変勉強になりました。

伊藤誠史会員～先日、地区大会へ参加させて頂きました。初めての地区大会でしたので、何もかもが新鮮に見えました。今日の例会で報告させて頂きます。

１２月１３日プログラム予定

プログラム・出席委員会
（下期プログラム発表）